

浜っこだより

学校の教育目標

「明日の郷土を拓くたくましい子ども」
学ぶ子 心豊かな子 健やかな子

今年の重点目標

「短文の主旨を的確につかめる子の育成」

一步退くことで、前進できることがある！

佐呂間町立浜佐呂間小学校長 佐々木 寿彦

時折、プラス気温の日もあり、道路はアスファルトが見えるところが増え、春が近づいてきているを感じさせるようになってきました。子供たちはあと一ヶ月で、今の学年を修了、6年生にあっては、小学校を卒業します。最後の一ヶ月で、学習した教科の基礎・基本をしっかりと身につけて、進級・進学して欲しいと思います。

さて、佐呂間町では、佐呂間町教育目標「自ら学び、ともに磨き合い、広い心と生きがいを持ち、ふるさとを愛するたくましいサロマ人」の育成を目指して、今年度から「0歳から18歳までを見通した佐呂間町の教育」の方針の下、保育所・小学校の連携、小学校間の連携、小学校・中学校の連携、中学校・高校の連携をより一層推進しています。その一貫として、令和7年度からの併置型小中一貫教育の本格実施に向け、次年度から基盤、体制づくりが進められます。佐呂間町が進める併置型小中一貫教育とは、3小学校と中学校をそれぞれ現在のまま維持しながら、教育課程（どのような内容の学習を進めていくのか）の共通化（一部は地域の独自性を生かす）と連続性を構築し、佐呂間町の子供たちがどの学校でも一貫性、連続性のある教育を受けられるようにするものです。

そこで、浜佐呂間小学校では、令和6年度から一部教科での教科担任制、若佐小学校とのオンライン合同授業、3校合同修学旅行（6年児童）、佐呂間中学校教諭による算数・英語の巡回指導、更に令和7年度からは3校合同宿泊研修（5年児童）にも取り組んでいきます。これらにより、よりよい学習活動ができるとともに、子供たちは多くの人との関わりができ、コミュニケーション能力が高まることも期待しています。今まで以上にご理解とご協力をお願いします。

それでは、前号で掲載した中国の古典「菜根譚」から、人との関わりについて一つ。『行くに去けざるところは、すべからく一步を退くの法を知るべし』これは、『行こうとして行くことができないときには、自分の方から一步退くというやり方を知らなければならない。』ということです。人は、それぞれに個性があり、固有の考え方があります。互いが関わり合うとは、それぞれの持っているものを擦り合わせることであり、時には、そりが合わないこともあります。そこで、自分の我を通さず、一步退くことで、相手も自分を振り返り冷静になることができるのです。もし、相手と険悪な雰囲気になったとき、相手に謝って欲しいなあと思ったら、まずは自分から謝ってみてはどうですか？きっと、相手も柔和な態度に変わるのではないのでしょうか？

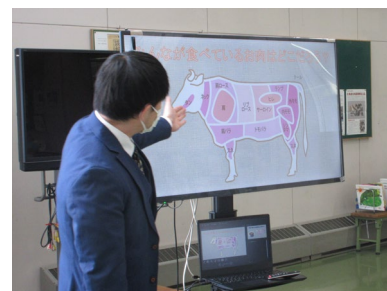
3月浜の予定

日	曜	行事
1	金	6年生を送る会 全校4時間授業 野村指導主事来校
2	土	
3	日	
4	月	全校朝会(校長)
5	火	
6	水	リーディングスキルテスト(5年) あおぞら号
7	木	フッ化物洗口
8	金	全校4時間授業
9	土	
10	日	
11	月	CS④
12	火	
13	水	職員会議
14	木	卒業式練習 野村指導主事来校
15	金	バイキング給食(6年) 全校4時間授業
16	土	
17	日	
18	月	PTA 理事会
19	火	
20	水	春分の日
21	木	卒業式前日準備(通常日課)
22	金	卒業式・修了式・離任式
23	土	年度末休業日(～31日)
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

になりました。次年度も、電子黒板等を使った他校との交流が進んでいきます。

食育～トップファームさんの講話～

トップファームの井上さんと栄養職員の大島さんが食育指導をしてくださいました。井上さんからは、牛の部位、どのような料理に使うのかについてクイズ形式で話していただき、子どもたちも興味をもって聞いていました。また、牛の体の全てが使われること、食品ロスをなくしていかなければならないことなど、大切なことをたくさん教えていただきました。



1・2年 人権教室

2月27日に人権教室を行いました。北見人権擁護委員の方が、思いやりの心や優しい気持ちの大切さについてお話ししてくださいました。「白い魚とサメの子」という紙芝居で命の大切さや自分らしさの大切さについて学習しました。子どもたちからは「友達の魚が困っていたら助けてあげてね。」「白い魚みたいに危険だけど人を助けたい。」といった感想が出されていました。



3・4年 氷上釣り体験

3・4年生は総合的な学習の時間を使って、氷上釣り体験を行いました。PTAの方の協力もあり、浜佐呂間ならではの体験をすることができました。ここで体験したことを全校朝会で発表してくれ、楽しかったことが伝わってきました。



5・6年 若佐オンライン交流

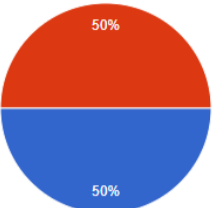
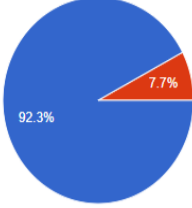
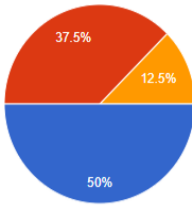
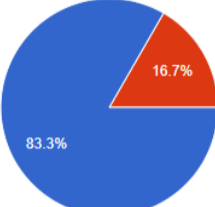
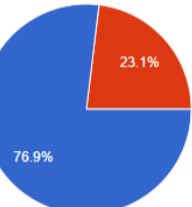
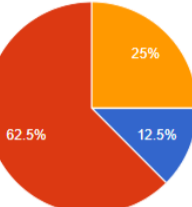
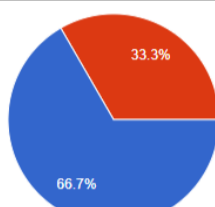
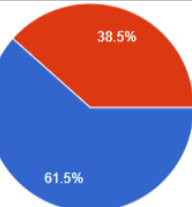
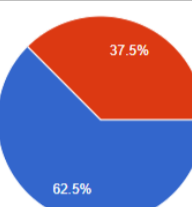
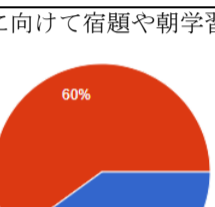
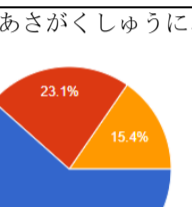
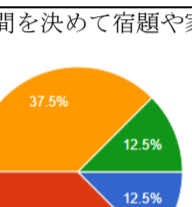

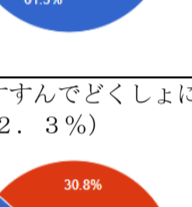
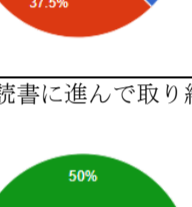
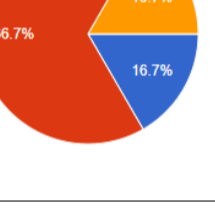
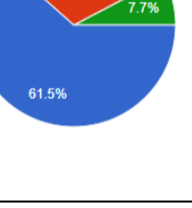
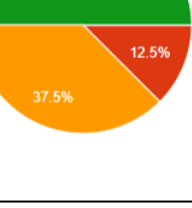


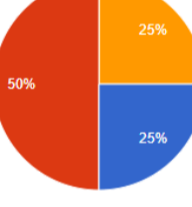
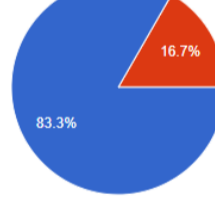
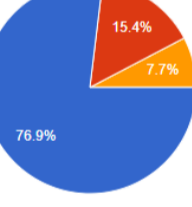
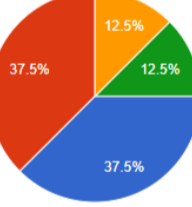
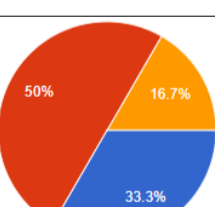
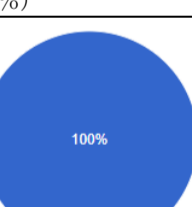
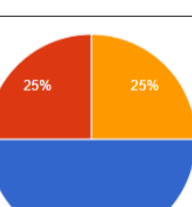
5・6年生は、今年2回目のオンライン授業を行いました。教科は外国語です。外国語の五十嵐先生が「いなばの白ウサギ」を題材に授業をしてくださいました。

町の教育委員会から電子黒板を導入していただき、それを使って他の学校と交流することや、教材を共有すること、黒板機能として利用することなどが簡単



後期学校評価の結果について

● (あお) そう思う ● (あか) ややそう思う ● (オレンジ) あまりそう思わない ● (みどり) そう思わない ● (むらさき) 無回答

教職員	児童	保護者	改善策
<p>1 積極的にICTや具体物等を活用し、わかりやすい授業を心がけている。(100%)</p> 	<p>1 せんせいは、べんきょうをわかりやすくおしえてくれる。(100%)</p> 	<p>1 先生は、わかりやすい授業をして、お子さんの力を伸ばしている。(87.5%)</p> 	
<p>2 話の聞き方、話し方について継続して指導している。(100%)</p> 	<p>2 せんせいやともだちのはなしをしっかりとったり、じぶんのかんがえをさいごまではなしたりしている。(100%)</p> 	<p>2 お子さんは、しっかり話を聞いたり、話したりすることができている。(75%)</p> 	
<p>3 ICTを活用した授業や家庭学習を毎日行っている。(100%)</p> 	<p>3 かていがくしゅうで、パソコンやタブレットを使って学習している。(100%)</p> 	<p>3 お子さんは、家庭での学習で、パソコンやタブレットを使っている。(100%)</p> 	
<p>4 学習内容の定着に向けて宿題や朝学習を計画的に行っている。(100%)</p> 	<p>4 かていがくしゅうやあさがくしゅうに、すすんでとりくんでいる。(84.6%)</p> 	<p>4 お子さんは、毎日時間を決めて宿題や家庭学習に取り組んでいる。(50%)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張り子どもに言葉で伝える。認めてほめる。 ・紙のプリントによる宿題とクロームブックを活用する宿題とを適度に使い分ける ・楽に習慣づけるには、毎日同じ時刻に宿題・家庭学習のスタートとストップを決めておくこと良い。 ・子どもが確実に取り組める宿題を出し、続けられるようにする。
<p>5 読書の機会、動機付けなど、計画的な指導を行っている。(83.4%)</p> 	<p>5 がっこうやいえで、すすんでくしょにとりくんでいる。(92.3%)</p> 	<p>5 お子さんは、家庭で読書に進んで取り組んでいる。(12.5%)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方で順番を決めて、全校朝会で読み聞かせ(本の紹介)をする。 ・全校読書に継続して取り組む。 ・借りた本、読んだ本を交流する時間をつくる。 ・読書カード(ファイル)に読んだ本の題名を記録していく(校内の本もおおぞら号の本も)。まとめて書き足していけるようなものがあると便利なのではないか。 ・家族で読む時間を設定してほしい。 ・おおぞら号の利用をよびかける。
<p>6 命の大切さやいじめをなくすための指導を行っている。(100%)</p> 	<p>6 いのちのたいせつさや、いじめはゆるされないということをじゅぎょうでまなんだ。(100%)</p> 	<p>6 学校では、命の大切さやいじめをなくすための指導に取り組んでいる。(75%)</p> 	
<p>7 基本的な生活習慣の定着に向けて、具体的な指導を行っている。(100%)</p> 	<p>7 はやねはやおき、すききらいをせずたべること、きまりをまもること、あいさつ、がくしゅうどうぐのじゅんびが、じぶんでできる。(92.3%)</p> 	<p>7 お子さんは、基本的な生活習慣が身についている。(75%)</p> 	
<p>8 体力づくりに取り組んでいる。(83.3%)</p> 	<p>8 すすんでうんどうしたり、そとやたいいくかんであそんだりしている。(100%)</p> 	<p>8 お子さんは、進んで運動に取り組んだり、外で遊んだりしている。(75%)</p> 	
<p>9 チャレンジテストや学力検査等の分析結果から児童の実態を把握し、補充的な指導や学び直しを行った。(100%)</p> 	<p>10 全ての学習で、読む、話す、聞く、書く活動を位置づけ、取り組んでいる。(100%)</p> 	<p>11. 短文の主旨を的確につかむための指導を行っている。(100%)</p> 	

保護者のみなさま、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。
 アンケートの結果について、教職員で成果と課題を出し合い、次年度に向けての改善策を考えました。
 「タブレットを使って学習をしている」の項目では、教職員・児童・保護者の全てから「そう思う」「ややそう思う」と回答がありました。タブレットの毎日の持ち帰りが100%達成されました。
 課題となっているのは「家庭学習」と「読書活動」です。改善策は上記のとおりですが、それ以外にもタブレットを利用して家庭学習の取り組みや読書の記録を蓄積していくといった方法が話し合われました。今後、頑張りが見えるようにする・励ます・お互いに交流するなど、子どもが取り組みたくなる工夫をしていきます。

